

長浜市立 湖北病院だより

〒529-0493
長浜市木之本町黒田1221
TEL 0749-82-3315
発行 湖北病院広報委員会
ホームページアドレス
<http://www.ikbk.jp>



2022年度地域医療実習に2名の医大生が来てくれました

当院は、将来の医療を担う研修医の先生や医療従事者を対象として、地域に根差した医療現場を見ていただけるよう、地域医療研修の受け入れを行っております。

今年度は、滋賀医科大学6年生2名が当院で地域医療実習を受けてくれました。馬淵純一先生は小児科、平湯峻馬先生は免疫の領域に興味があるとのことで、研修の感想の一部を抜粋して紹介します。

馬淵先生

コロナ禍以来、外来の医療面接やベッドサイドでの診察を十分経験できる機会がなく、ラストチャンス of 学外臨床実習でしたが、多くの面接や診察を経験させていただきました。地域医療の学習に関して、湖北地域の医療体制の課題点を実習を通して感じながら、少子高齢化を迎えた日本社会における医療のありかたについて考えるとともに、地域で重要な役割を果たす在宅診療、巡回出張診療、介護施設などで実習させていただきました。地域の方に必要な医療を提供する視点、検査以前に求められる基本的な診察の技術が重要である視点は、大学の実習で気づきにくく、新たな考え方として得ることができました。小児科志望ということで、地域の診療所、中核病院、小児科領域高次医療機関と、幅広く小児科医の働き方を学ぶことができました。学校医や地域の乳児検診など、大学病院で経験できない業務にも同行し、広い視野をもって小児科の果たすべき役割を考えることができました。

馬淵先生の実習風景



左：金居原診療所で。立派に問診と診察ができていました。

中：合同カンファレンスの様子。多職種連携を学んでくれました。

右：賤ヶ岳で一枚。この先多くの子ども達を笑顔にしてくれると思います。

平湯先生

特養、サ高住、グループホームなど複数の施設での診療を通して、幅広い介護度の方をみせていただきました。訪問診療に同行して、自宅で診療を受けられる環境が、患者さんご家族にとっていかに安心であるかを知りました。動脈採血や腹腔穿刺、尿道カテーテル及び気道カニューレの交換、心肺蘇生など、研修医なみの手技経験をさせていただきました。救急当直で、初診の方の問診や身体診察から鑑別診断を挙げるところまでを、サポートを受けながら実践することができました。健康診断では、指導を通して患者さんに心がけてもらいたいことを話す機会が持てました。今後 ICT を利用した遠隔診療の実現性が増す中で、医師が「近くにいなくてもいい」方向性について考えました。今回の実習で「近くにいる医師の存在」がどれほど支えになっているのかを実感しました。患者さんやご家族の心理的なよりどころとなっていることを踏まえた上で、それを前提にして地域医療の技術を発展させるべきであると思いました。

平湯先生の実習風景



左：杉野診療所の様子。病院スタッフとと思っている患者さんも。

中：産業医業務に同行、作業環境管理をチェックしてくれています。

右：訪問診療の帰りに余呉湖を通りました。

湖北病院は、へき地医療拠点病院に指定され、病院診療に加え、へき地ならではの巡回診療をはじめ、サービスを届けにくい地域への訪問診療、へき地に立地した介護施設への支援をおこなっています。研修にご協力いただいたスタッフや関係者および地域の皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。将来を担う若手医師の育成に、今後ともご協力のほどお願いいたします。

地域医療実習担当 スタッフ一同